

旧有備館および庭園の災害復旧事業がすべて終わり、一般公開が始まりました

4月25日、国指定史跡及び名勝「旧有備館および庭園」の災害復旧事業落成式が行われました。

東日本大震災によって甚大な被害を受け、平成23年度から災害復旧工事が始まり、庭園の復旧は平成24年度に、倒壊した御改所（主屋と附属屋の復旧が平成26年度に完了しました。そして平成27年度には、正門復旧工事と建物内部の常設展示子政策が完了し、5年の歳月をかけ、有備館の美しいたたず



▲落成式で披露された真山神楽



▲ゴールデンウィークには、新たな息吹が吹き込まれた有備館の姿を一目見ようと、全国から多くの皆さんが訪れてくれました。

まいが蘇りました。

この日は、岩出山伊達家はじめとする関係者126人が出席する中、岩出山大蔵流謡曲保存会による謡や真山神楽保存会による舞も披露され、伝統と歴史が息づく落成式となりました。

翌日26日からは一般公開が始まり、よみがえった有備館を一目見ようと、4月29日から5月8日までの10日間、ただで、全国から8500人も皆さんが駆けつけてくれました。

有権者の年齢引き下げを前に古川工業高校で模擬投票が行われました

4月27日、古川工業高等学校で、大崎市選挙管理委員会による「3学年選挙講話が開催されました。

公職選挙法の一部改正により、この夏の参議院議員選挙から、18歳以上の人が投票できるようになることから、選挙制度の仕組みや投票の仕方を知ってもらう機会として行ったものです。

選挙制度の意義や仕組みを知った後は、実際の選挙で用いられる投票箱や投票記載台



▶初めて手にする投票用紙に思わず笑みがこぼれます

を使って「模擬投票」を体験しました。

投票用紙を手にした生徒たちは、候補者選びに迷いながらも、自分の一票がどのよう

に開票に結びつくのか、結果が待ち遠しい様子でした。土木情報科の五十嵐和花さんは「若者の意見が少ないとよく耳にする。ひとりの有権者として、自分の意見を政治に反映できたらいい」と話してくれました。



▶模擬投票は「古工市長選」。投票から開票まで、選挙のひと通りの流れを体験しました

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



三本木発

かわいらしい稚児が練り歩く

5月7日、三本木地域恒例の「三本木春まつり」が、大崎市誕生10周年記念事業として行われました。

三本木総合支所から三本木商工会までの道のりを、交通安全を呼びかけながらパレードを行ったほか、ひまわり園の子どもたちによる稚児行列も行われました。

三本木地域では、地域をあげて交通事故撲滅に取り組んでおり、5月15日現在、「交通死亡事故ゼロ」期間が1932日となっています。この記録が、2000日、3000日と長く続くように、ドライバーも歩行者も、一日また一日と、交通安全に取り組みましょう。



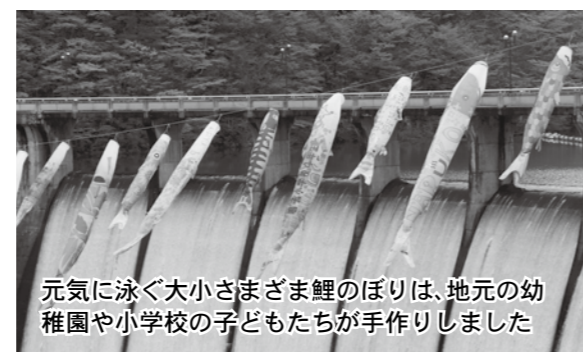
▲交通事故のない、子どもたちが健やかに安全に成長できる地域をみんなで目指します

鳴子温泉発

悠々と泳ぐ 鯉の滝のぼり

5月2日、鳴子ダムで「すだれ放流」が行われました。すだれ放流は、普段は放水することがないダム上部から、すだれのように水を流すもので、毎年、5月のゴールデンウィーク期間中に実施されています。ダムの兩岸を渡して飾られる50本もの鯉のぼりが、高さ約80mの巨大な滝に影を映し、「鯉の滝のぼり」を思わせる雄大な景色が広がります。

四季折々に豊かな表情見せる鳴子ダムは、まもなく、完成から60年を迎えます。鳴子温泉地域では、観光資源のみならず、地域とともに歩んできた鳴子ダムの「土木遺産」認定に向けた活動を展開しています。



元気に泳ぐ大小さまざま鯉のぼりは、地元の幼稚園や小学校の子どもたちが手作りしました

田尻発

児童の安心安全へ地域一体で取り組む

5月13日、沼部小学校の児童と「ふるさとまもる隊」の対面式が行われました。

ふるさとまもる隊は、地域のボランティアなどからなる85人の皆さんによって組織されています。隊員はそろいの緑のジャンパーを着て、通学路の巡回や危険箇所のパトロール、下校時の児童への声掛けなどを行い、地域の温かい目で子どもたちを見守ります。

6年生の佐藤幸大さんは「ふるさとまもる隊の皆さんのおかげで安心して通学できます。これからも交通ルールをしっかり守りたい」と話していました。



◀緑のジャンパーは、児童と地域の安心安全の目印。互いに顔と名前を教え合っていました。



◀まもる隊員のなかには、児童の近所のおじさんやおばさんも。地域一体となって児童を見守ります。

31日	30日	26日	19日	18日	17日	13日	12日	11日	10日	9日	7日	1日	2016	
●大崎市食生活改善推進員会総会	●国道108号仙秋ライン整備促進期成同盟会総会	●熊本地震派遣職員報告会	●平成28年第1回大崎市議会臨時会(20日まで)	●大崎市シティブロモーション推進協議会総会 ●大崎市農政懇談会	●熊本地震被災地支援職員派遣第2班出発式(19日~25日)	●大崎市古川地域交通事故死亡事故ゼロ6カ月に伴う感謝状贈呈式	●(仮称)道の駅おおさき基本計画策定業務公募型プロポーザル審査委員会	●鳴子放牧場開牧式	●古川十日朝市開会	●熊本地震被災地支援職員派遣第1班出発式(12日~19日)	●国道347号「絆」交流促進協議会総会	●大崎市誕生10周年記念事業三本木春まつり	●夏の軽装勤務(クールビズ)開始(10月31日まで)	5月の主な出来事